

日本政府の温暖化に対する対応の甘さが露呈した。

深刻さを増す地球温暖化に対処するため、九月に米ニューヨークの国連本部で開かれた「気候行動サミット」で、日本政府が安倍首相の演説を要望したが、国連側から断られていたことが分かった。

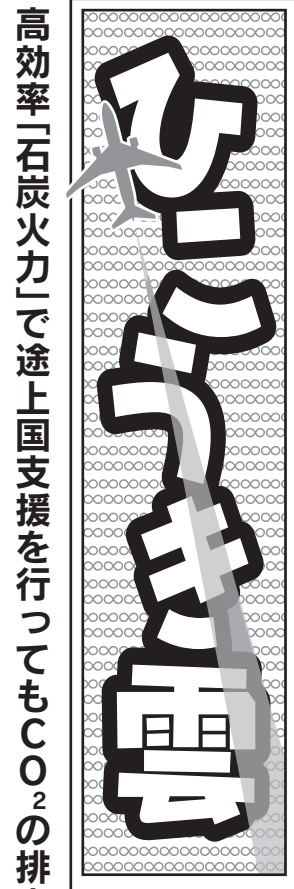
かつては、京都議定書で世界をリードしてきた日本の環境対策だったがCO<sub>2</sub>の排出が特に多い石炭火力の推進が温暖化対策の目玉になる、日本の方針が支障になったといわれている。

主催したクテレス国連事務総長は開演に先立ち「美しい演説ではなく具体的な計画」を用意するよう求め、国連側は事前に関国の首相にサミット出席を呼び掛けた。共同通信によると、日本は、安倍首相が本年6月に議長を務めた20カ国・地域首脳会議(G20大阪サミット)の結果を含めて、その成果を報告したい意向を伝えて協議したが日本は、未だに石炭火力発電の

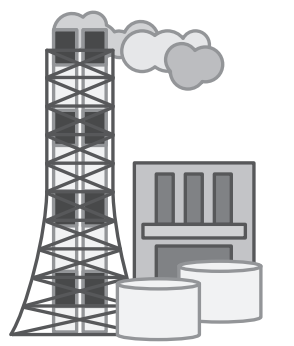
日本政府の温暖化に対する対応の甘さが露呈した。

# 首相、気候サミット演説断られる!

## 石炭火力発電推進が支障となり、温暖化ガスの削減目標が不十分と判断された結果。



発行所 髙松 松下孝建設  
 発行人 松下 孝 行  
 編集責任 齋藤 恭 誠  
 ■本社  
 〒891-0108  
 鹿児島市中山1丁目14-29  
 TEL 099-267-7594  
 FAX 0120-079-089



Q2・世界が脱炭素に進む中、石炭火力発電を輸出しているのは問題ではないか?

エネルギー源に完璧なものはない、石炭を選ぶざるを得ない国もあり、そうした国々の経済発展とCO<sub>2</sub>削減に貢献している。完璧なエネルギー源は存在しない中で、世界には、どうして石炭をエネルギー源のひとつとして選択せざるを得ない国が存在している。安定供給をおこなう「エネルギー安全保障」と共に「経済性」も重要である。

IEA(国際エネルギー機関)では、インド、東南アジア諸国の新興国は、経済発展と共に、今後も石炭火力発電のニーズが拡大する。新興国にとって、安く、安定的に採れる石炭は、引き続き、重要なエネルギーだ。2017年に開催された「ASEAN+3エネルギー大臣会合」(東アジアサミット)で、ASEAN諸国からは、エネルギー安全保障と同時にCO<sub>2</sub>削減にも貢献するクリーンな石炭火力発電技術についての積極的な活用して行きたいとの言及もあり、その導入のため金融面・技術面からも支援強化を求める声がある。

日本は、再生可能エネルギーや水素、排出したCO<sub>2</sub>を貯める「CCS」(二酸化炭素回収・貯留)技術や貯めて使う「CCUS」などを含んだ、さまざまなエネルギーの選択肢を各国に提案し、支援している。石炭火力発電を選ばざるを得ない国々に対しては、日本が持つ高効率発電技術の輸出をおこなっている。これは、途上国の発展に対する貢献とアジア地域全体の温暖化対策、大気汚染物質の削減の貢献にもなる。

日本でも商用化されている最高効率の技術(USC:超々臨界圧)を、中国やインドといったアジアの国々と米国の石炭火力に適用するとCO<sub>2</sub>削減効果は約12億トン(11.8億トン)にのぼると試算もある。これは、日本全体のCO<sub>2</sub>排出量(約13億トン)に匹敵する規模である。

以上が、日本の環境対策のまとめであるが、これを日本の言い訳に感じたのは、貴方や私だけでなく、世界中の人々がそう思っているようだ。

検索 一発ゴー!

利用を推進しているほか、温室効果ガスの排出削減目標の引き上げや、引き上げに相当する新たな取り組みを表明できない事が断られた理由だったという。

自国のみならず「途上国での石炭火力発電建設に資金援助を続けていることも影響したという」だ」と関係者は語っているという。日本は6月に、温暖化対策の長期戦略をまとめ、今世紀後半の長期戦略を掲げている。排出を半分のできるだけ早期に、排出を事実ゼロにする目標を掲げているが、具体的な時期は示さなかった。策定過程で石炭火力発電の「長期的な全廃」案も示されたが、産業界出身の有識者委員の反発で全廃案から「依存度を引き下げる」という後退案が採択されたという。

表明しているが、温暖化の影響を最も受け続けている日本の対応が、石炭火力の全廃どころか現在の増設計画が、1673万kW、30機となっていること(2018年3月末時点)。

さらに発展途上国に融資・援助付きで拡散させようとしていることに、世界に広がる若者の抗議活動を背景にした、スウェーデンのグレタ・トゥーンベリさん(16)も演説し、抜本的な対策強化を求めた。

日本は小泉進次郎環境相が出席したが演説の機会はなく、全く、逆行する無策ぶり存在感を示せない結果に終わった。

これには、日本から参加した環境団体からも失望の声が上がり、環境団体FOREJAPANの深草環悠美さんは「世界で脱石炭の流れが加速する中、国内の石炭利用と海外支援を続ける日本に国際社会が厳しい目を向けている証左だ。真剣に地球温暖化対策に取り組むのであれば、支援を直ちにやめ、国内でも段階的廃止に向けた工程表を立案

すべきだ。再生可能エネルギーは大きく伸びており、石炭火力は資産価値が損なわれて使い道のない座礁資産となる可能性が高い。気候変動の影響で、国内でも巨大台風や豪雨による被害が甚大になっている。脱石炭は国民の利益になる」と憤りを見せていたという。

Q1・なぜ新たに発電設備を建設しようとしているのか?

日本全体で、火力発電の高効率化を進めようとしているためで、古くは発電効率の悪い火力発電に代えて「クリーンコール技術」を活用した発電効率の高い火力発電を導入することで、火力発電設備の新陳代謝を促しCO<sub>2</sub>排出量も減らしていくことが必要とされている。逆を言えば、現在の建設計画をすべて中止させてしまおうと、古くは発電効率の悪い火力発電が残ったままになるおそれがある。

2019年、スペイン・マドリッドでの国連気候変動枠組み条約第25回締約国会議(COP25)で、国際環境NGO「気候行動ネットワーク」から地球温暖化対策に非協力国に贈られる「化石賞」を、山崎経済産業相が「石炭火力発電など化石燃料の発電所は選択的だが残していききたい」と開演後に述べた発言と現地で小泉環境相が「石炭政策については新たな展開を生むには至らなかった」と脱石炭への道筋を示さなかったスピーチに対し、2度の不名誉な「化石賞」が贈られた。2011年の東日本大震災以降、原子力発電所がほとんど稼働できない状態が続いており、化石燃料発電への依存が高まっている。日本は、途上国の高効率発電技術の輸出をおこなっている。これは、途上国の発展に対する貢献とアジア地域全体の温暖化対策、大気汚染物質の削減の貢献にもなる。

世界が「化石賞」の2度受賞という不名誉だ。

2019年、スペイン・マドリッドでの国連気候変動枠組み条約第25回締約国会議(COP25)で、国際環境NGO「気候行動ネットワーク」から地球温暖化対策に非協力国に贈られる「化石賞」を、山崎経済産業相が「石炭火力発電など化石燃料の発電所は選択的だが残していききたい」と開演後に述べた発言と現地で小泉環境相が「石炭政策については新たな展開を生むには至らなかった」と脱石炭への道筋を示さなかったスピーチに対し、2度の不名誉な「化石賞」が贈られた。2011年の東日本大震災以降、原子力発電所がほとんど稼働できない状態が続いており、化石燃料発電への依存が高まっている。日本は、途上国の高効率発電技術の輸出をおこなっている。これは、途上国の発展に対する貢献とアジア地域全体の温暖化対策、大気汚染物質の削減の貢献にもなる。

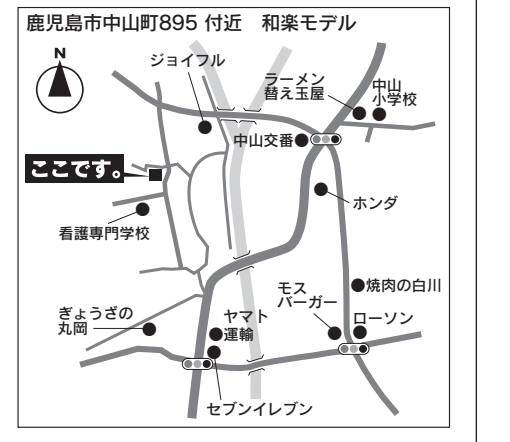
http://www.matsushitataka.co.jp/ Google・Yahoo!・infoseek・Excite・その他 松下孝建設 検索 一発ゴー!

# 和楽展示場 公開中!

ハイブリッド・エコ・ハートQ  
 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」



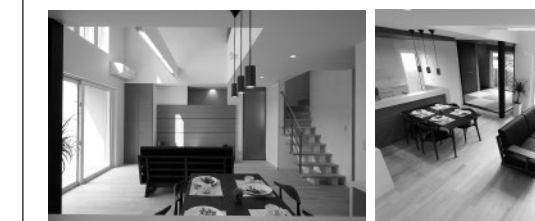
丁寧仕上げられた『和』の意匠は  
 静謐な美しさを  
 いつまでも『楽』しめる



鹿児島島の気候に適した高気密・高断熱と「循環空調」システムの「和」をイメージしたモデルハウスです。一般家庭用のリビングサイズのエアコンで室内空間のすべてが温度差なく、一年中を快適に過ごせます。高性能樹脂サッシと24時間計画換気で、結露の発生を防ぎ、家族の健康と住宅の高耐久性を実現しました。ZEH基準を標準クリアした外皮性能とハウス・オブ・ザ・イヤー2013で大賞を受賞した公的にも認められた施工技術の粋。外装、内装共にこれまでの松下孝建設とは少し違う趣を感じてください。

# 加世田展示場 公開中!

ハイブリッド・エコ・ハートQ  
 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」



加世田展示場は将来、ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の為に太陽光パネルが取り付けられる様に大屋根構造になっています。また、新しく開発された「循環空調」システムが取り付けられており、夏も冬も低温空調による省エネルギーで快適なシステムが稼働しています。平屋感覚の住宅ですが、屋根構造を活かして一室だけ2階に居室が設けられています。大きな開口部と大屋根の今までの加世田にはない全く新しいコンセプトで設計された住宅ですから是非、ご覧頂きたいと思えます。この展示場で新しい松下孝建設に出会えることと存じますので、ご家族の皆様でお越しください。心からお待ち申し上げております。

# 薩摩川内展示場 販売受付中!

ハイブリッド・エコ・ハートQ  
 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」



住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。

0120-079-089

http://www.matsushitataka.co.jp/ Google・Yahoo!・infoseek・Excite・その他 松下孝建設 検索 一発ゴー!